

ICOM 接続ガイド

WIRELESS ACCESS POINT AP-80M

[IEEE802.11n]規格準拠

1. 必要なものを確認する

付属品について

- ACアダプター
- アンテナ
- クッションシート
- MB-102取説説明書
- MB-102★
- 壁面取付プレート式
- 接続ガイド(本書)
- 保証書
- ご注意と保守について
- 電波干渉注意シール

★本製品に付属のMB-102をご使用になる(クッションシートを使用しない)場合は、MB-102取説説明書をご覧ください。

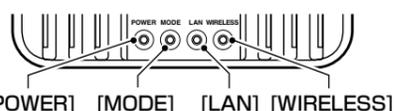
接続ガイド(本書)について

本製品の基本的な使いかたを説明しています。別売品や各機能の詳細な設定については、弊社ホームページに掲載の取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

アイコム株式会社 取扱説明書 ダウンロード
<http://www.icom.co.jp/support/download/manual/>

2. 各部の名称 / 出荷時の設定

上面部(ランプの状態と動作)



	POWER	MODE	LAN	WIRELESS
点灯	電源ON時	WPS設定完了時	有線接続時*3	無線通信確立時*4
		ファームウェアの更新中は、橙色ですべて同時点灯		
点滅	<MODE> ボタン操作時 (設定初期化: 別紙参照*1)	<WPS>ボタン 操作時(本書参照) WPS設定中(緑) WPS失敗(赤)	データ 送受信中*3	DFS機能動作時 (本書参照)
消灯	電源OFF時	WPS完了5分後	未接続	通信未確立時*2

- *1. 設定初期化の操作は、「ご注意と保守について」(別紙)をご覧ください。
- *2. 本製品と通信中の無線LAN端末が存在しないとき、または無線通信しない状態がつづいたとき。
なお、消灯までの時間は、通信状態によって異なります。
- *3. 100BASE-T接続時は橙色、10BASE-T/100BASE-TX接続時は緑色になります。
- *4. 2.4GHz帯接続時は緑色、5GHz帯接続時は橙色になります。

△警告

本製品に取り付けたアンテナを持って振り回さないでください。本人や他人に当たるなど、けがや故障、破損の原因になります。

【ご注意】

技術基準適合証明を取得していますので、弊社指定以外のアンテナは使用できません。

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本製品は、[IEEE802.11n]規格、[IEEE802.11a(W52/W53/W56)]規格、[IEEE802.11b/g]規格に準拠したワイヤレスアクセスポイントです。

本書では、接続や設定の準備について説明しています。本書をお読みいただく前に、別紙の「ご注意と保守について」をよくお読みいただき、本製品を正しくご使用ください。

ご用意していただくもの

- 設定用パソコン
- LANケーブル
- アース線
- HUB
- 100BASE-TX 以上対応の製品

【有線LAN端末の接続について】
 本製品は、MDI(ストレート)/MDI-X(クロス)の自動判別機能に対応していますので、ストレート結線されたLANケーブルで本製品とパソコンを直接接続できます。

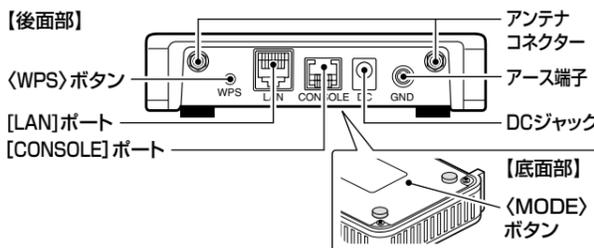
【無線LAN端末の接続について】
 出荷時、本製品は、[IEEE802.11n/b/g]規格の無線LAN端末と通信します。

取扱説明書(PDFファイル)をご覧くださいには

ご覧いただくには、Adobe® Reader®が必要です。お持ちでない場合は、Adobe®ホームページからソフトウェアをダウンロードしてください。

後面部/底面部(接続各部と各ボタンの名称)

本製品との接続は、「3.接続して電源を入れる」と併せてご覧ください。



出荷時のおもな設定値

ネットワーク設定	IPアドレス	192.168.0.1
	サブネットマスク	255.255.255.0
	DHCPサーバー機能を使用	しない
無線LAN設定★ (ath0)	SSID	WAVEMASTER-0
	チャンネル	001CH(2412MHz)
	暗号化設定	なし
	WPSを使用	しない
管理者設定	管理者ID	admin(変更不可)
	管理者パスワード	wavemaster(半角小文字)

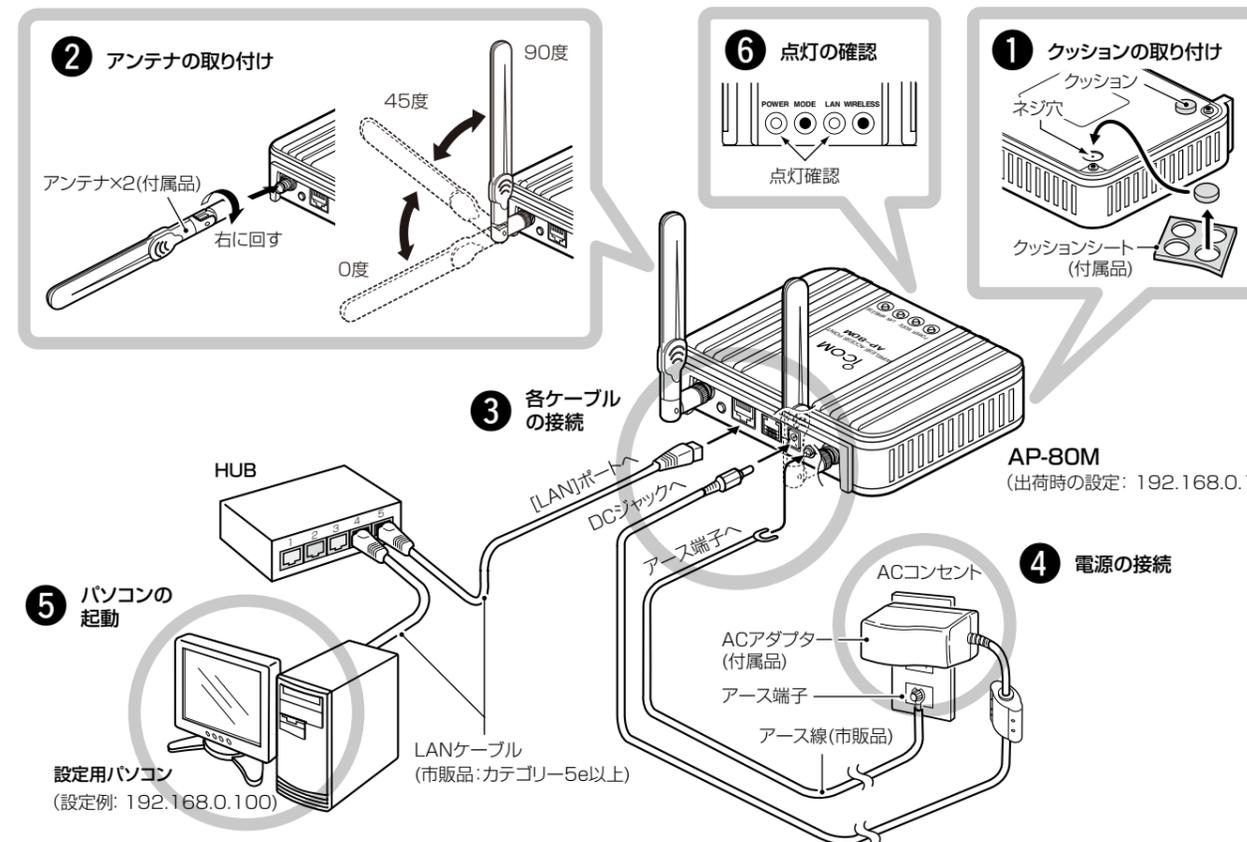
★[IEEE802.11n]規格は、「ath0」～「ath2」の仮想APを使用し、暗号化方式を「なし」または「AES」に設定している場合に有効です。「ath3」を使用したときは、[IEEE802.11a]規格、または[IEEE802.11b/g]規格の通信になります。

3. 接続して電源を入れる

次の手順(①～⑥)で、各機器を本製品に接続します。

(すべての接続が完了してから、本製品の電源を入れてください。)

- * 出荷時の状態で接続するときは、本製品に接続するHUBと既存のネットワークを切りはなしてください。
- * 100BASE-TXより低速なHUBは、意図しない動作で通信に障害を与えるなど、通信速度低下の原因になりますので、接続しないでください。
- * HUBをお持ちでない場合でも、LANケーブルで本製品とパソコンを直接接続できます。



△警告

本製品のアース端子は、市販のアース線を使用して、コンセントのアース端子、または地中に埋めたアース棒(市販品)に必ず接続してください。※落雷したときの電氣的ショックの緩和、感電やノイズの回り込みを防止できます。※絶対に、ガス管や水道管には接続しないでください。

設定用パソコンのIPアドレスについて

出荷時、本製品のDHCPサーバー機能は、無効に設定されていますので、本製品の設定に使用するパソコンには、あらかじめ、固定IPアドレス(例:192.168.0.100)を設定してください。※パソコンのIPアドレス設定について詳しくは、お使いになるパソコンの取扱説明書をご覧ください。

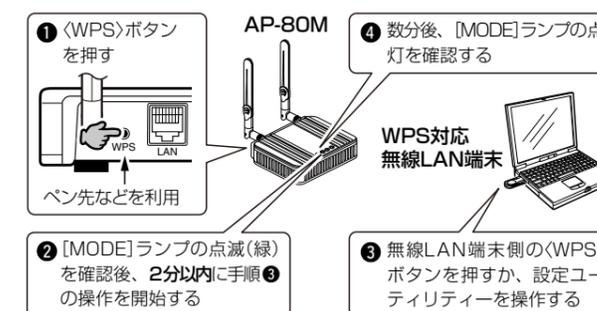
4. WPS機能による無線LANの自動設定について

WPS (Wi-Fi Protected Setup)機能*を使用すると、SSIDと暗号化(WPA-PSK/WPA2-PSK)を無線LAN端末に自動設定できます。WPS機能を使用するときは、本製品の設定画面にアクセス(裏の紙面を参照)して、「WPS」画面にある「使用するインターフェース」欄を「ath0～ath3」に変更してください。(出荷時の設定:なし)

*出荷時の設定を変更するまで、本製品後面の(WPS)ボタンは無効です。設定の変更や上記設定の詳細については、弊社ホームページに掲載の取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

- *使用する無線LAN端末は、下記の条件を確認してください。
- ◎WPS機能に対応していますか?
- ◎WPS機能が「無効」に設定されていませんか?
- ★WPS(Wi-Fi Protected Setup)とは、無線LANを容易に設定するために「Wi-Fiアライアンス」が提唱する機能です。

WPSの設定変更後は、下記の手順(①～④)で操作してください。



- * [MODE]ランプが点滅(赤)のときは、自動設定を失敗しています。上記手順②の操作までに2分以上経過したか、2台以上の無線LAN端末がWPSを同時実行していないかを確認後、もう一度操作してください。
- * 設定できない場合は、「使用するインターフェース」欄の設定を「しない」に戻してから、手動で設定してください。

5. 設定画面にアクセスするには

アクセスのしかた

本製品に接続したパソコンのWWWブラウザから、本製品を設定する画面にアクセスする手順について説明します。

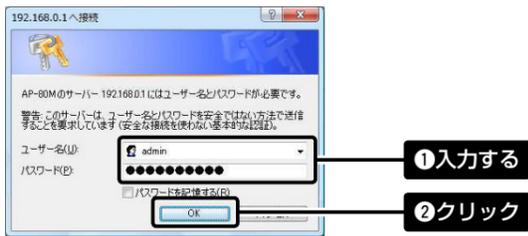
- 1 WWWブラウザを起動し、WWWブラウザのアドレスバーに、本製品に設定されたIPアドレスを入力します。



※上図は、出荷時の設定(192.168.0.1)を入力した場合です。

- 2 [Enter]キーを押します。
[ユーザー名(U):]、[パスワード(P):]を求める画面が表示されます。

- 3 [ユーザー名(U):]欄に「admin」、[パスワード(P):]欄に「wavemaster」(出荷時の設定)を入力し、<OK>をクリックすると、本製品の設定画面が表示されます。



WWWブラウザについて

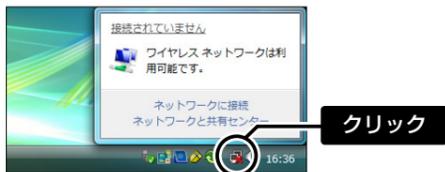
Microsoft Internet Explorer 8で動作確認しています。
設定画面が正しく表示できるように、WWWブラウザのJavaScript機能、およびCookieは有効にしてください。
※Microsoft Internet Explorer 7以前をご使用の場合は、正しく表示できないことがあります。

6. 無線LAN端末と接続するには

Windows Vista標準のワイヤレスネットワーク接続を例に、無線で本製品に接続するまでの手順を説明します。
※Windows XPについては、弊社ホームページに掲載の取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

- 1 本製品の電源を入れ、無線LANに対応するパソコン(無線LAN端末)の電源を入れます。

- 2 [ネットワーク]アイコンをクリックします。



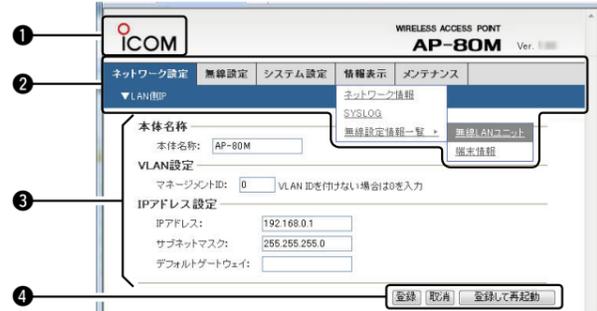
※状況によっては、しばらくしてから接続できる無線アクセスポイントを見つけ、上記のようなメッセージを表示する場合があります。



(設定例: 192.168.0.100) (出荷時の設定: 192.168.0.1)

設定画面の名称と機能について

本製品の設定画面の名称と各画面に含まれる項目を説明します。
※設定画面の構成については、弊社ホームページに掲載の取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。



① ホームページのリンク

インターネットに接続できる環境で、アイコンをクリックすると、弊社のホームページを閲覧できます。

② 設定画面選択メニュー

各メニューのタイトル上にマウスポインターを合わせると、そのメニュー(例:情報表示)に含まれる画面名(例:ネットワーク情報/SYSLOG/無線設定情報一覧)を表示します。
※[情報表示]メニュー内の階層がある画面名(例:無線設定情報一覧)の右側には、▶印が表示されます。

③ 設定画面表示エリア

[設定画面選択メニュー]で選択したメニューに含まれる画面名(例:ネットワーク情報/SYSLOG)をクリックしたとき、その画面の内容を表示します。

④ 設定ボタン

設定した内容の登録や取り消しをします。
<登録>をクリックして、「再起動が必要な項目が変更されています。」と表示されるときは、<登録して再起動>をクリックすると、画面上で確定された内容が再起動後に有効となります。
再起動中は、下記の画面を表示します。

本体を再起動しています。
本体の起動を確認後、[Back]をクリックしてください。

※再起動が完了(約1分)するまで、[Back]と表示された文字の上にマウスポインターを移動してクリックしても、設定画面に戻りませんので、しばらくしてから再度クリックしてください。
※表示画面によって、表示されるボタンの種類や位置が異なります。

7. DFS機能について

DFS機能は、無線LANの「52～64」/「100～140」チャンネルを設定したときだけ有効になり、気象レーダーなどによる電波干渉を自動で回避します。

※[40MHz帯域幅モード]に設定したときは、「52～140」チャンネルを選択できません。
設定方法などの詳細については、弊社ホームページに掲載の取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

- ◎ 本製品の設定画面から「52～64」/「100～140」チャンネルを選択して、<登録して再起動>ボタンを操作すると、電源投入直後の約1分間は気象レーダーの電波検出を開始します。
電波検出を開始すると、本製品の[WIRELESS]ランプが点滅して、本製品へのアクセスをすべて停止します。
- ◎ 本製品の起動中、または運用中に気象レーダーの電波を検出したときは、自動的に電波干渉しないチャンネル(36～64/100～140)に変更されます。
変更されたチャンネルが「36～48」の場合は、DFS機能を停止します。

「100～140」チャンネルすべてでレーダーを検出した場合は、本製品の無線通信を約30分間停止して、下記の状態になります。
[WIRELESS]ランプが点滅すると同時に、本製品の「無線LAN」画面に「使用中チャンネル: スキャン中」を表示して無線通信できなくなります。
このような場合は、約30分間放置することで、検出チャンネルリストが初期化され、再度使用できます。
※無線通信できなくなってから30分経過しない状態で、電源を再投入する、または設定内容の変更などで再起動すると、その時点から約30分間無線通信できませんのでご注意ください。
その場合、「100～140」以外のチャンネルを使用できます。

無線LAN規格	DFS機能	チャンネル()内: 電波干渉時
[IEEE802.11a/n (W52)] <5.2GHz>	無効	—
[IEEE802.11a/n (W53)] <5.3GHz>	有効	52～64 (36～64)
[IEEE802.11a/n (W56)] <5.6GHz>	有効	100～140 (100～140)
[IEEE802.11b/g/n] <2.4GHz>	無効	—

8. 仕様

一般仕様

電源 DC12V±10% [DCプラグ極性: ⊖ ⊕]
※ACアダプター(付属品)は、AC100V±10%
※PoEは、IEEE802.3af準拠
最大12W (AC100V) <付属のACアダプター使用時>
最大9W (本体のみ) <PoE使用時>

使用環境 温度0～40℃、湿度5～95% (結露状態を除く)

外形寸法 約120(W)×29(H)×103(D)mm (突起物を除く)
重量: 約250g (付属品を除く)

適合規格 クラスA情報技術装置 (VCCI)

インターフェース ランプ (POWER、MODE、LAN、WIRELESS) ボタン (MODE、WPS)

有線部

通信速度 10/100/1000Mbps (自動切り替え/全二重)

インターフェース: [LAN]ポート (RJ-45型)×1 (Auto MDI/MDI-X)
●IEEE802.3/10BASE-T準拠
●IEEE802.3u/100BASE-TX準拠
●IEEE802.3ab/1000BASE-T準拠
●IEEE802.3af準拠
[CONSOLE]ポート (RJ-11型)×1
●RS-232C準拠

無線部

国際規格: IEEE802.11n準拠
IEEE802.11a準拠、IEEE802.11b/g準拠

国内規格: ARIB STD-T71/ARIB STD-T66

使用周波数範囲: 5180～5700MHz [IEEE802.11n/a]
2412～2472MHz [IEEE802.11n/b/g]

※定格・仕様・外観等は改良のため予告なく変更する場合があります。

登録商標/著作権について

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴ、WAVEMASTERは、アイコム株式会社の登録商標です。
Adobe、Adobe Readerは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

アイコム株式会社

547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32

高品質がテーマです。

A-6778H-2J-② Printed in Japan © 2009-2010 Icom Inc.

三和システムサービス株式会社

〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町2-477 福島ビル3F
TEL 048-653-2211 FAX 048-653-2217